

## カラーリーフ 改訂版の紹介

# 関電の使用済燃料の乾式貯蔵に反対しよう

### 六ヶ所再処理工場の完成は延期。関電の使用済燃料対策も破綻

青森県の六ヶ所再処理工場の完成目標は、2024年度上期から2026年度中（2027年3月まで）に延期となりました。27回目の延期で、新たな目標の達成も不確かです。「核燃料サイクル」は事実上破綻しています。

これにより、使用済燃料を六ヶ所に搬出できなくなり、関電の「ロードマップ」（工程表）も破綻し、見直しとなりました。関電は今年度中に新しい工程表を提出すると言っていますが、これまで何度も福井県との約束を破ってきました。

原発敷地内の乾式貯蔵施設も、工程表を前提にしたものです。そのため、乾式貯蔵の計画も白紙に戻すよう求めていきましょう。

学習会等でリーフを活用してください。自治体や議員に声を届けましょう。

#### 関電の原発敷地内の乾式貯蔵施設

- ・ 原発の運転継続のためのものです
- ・ 老朽原発の運転継続で事故が起これば、福井と関西は甚大な被害を受けます
- ・ 原発の立地地元は核のゴミ捨て場となります

2024年9月2日改訂 / A4で4頁カラー版(A3二つ折り)

頒価: 100部未満@30円、100~1,000部未満@20円、1,000部以上@15円（送料はご負担ください）

発行: 避難計画を案ずる関西連絡会: (連絡先団体) グリーン・アクション/ 原発なしで暮らしたい宮津の会/ 原発なしで暮らしたい丹波の会/ 脱原発はりまアクション/ 原発防災を考える兵庫の会/ 美浜の会/ 避難計画を考える滋賀の会 (2024.9.9)

美浜の会でも取り扱っています。ご注文 TEL: 06-6367-6580 FAX: 06-6367-6581 メール [mihama@jca.apc.org](mailto:mihama@jca.apc.org)

- 関電は最初の高浜原発第1期分を来年(2025年)から工事を開始し、2027年には運用を始めようとしています。現在、国の審査中です。
- 関電の全ての原発は、あと3~5年で使用済燃料プールが満杯となり、燃料交換ができず、運転ができなくなります。それを何とか避けようと、乾式貯蔵を計画しているのです。

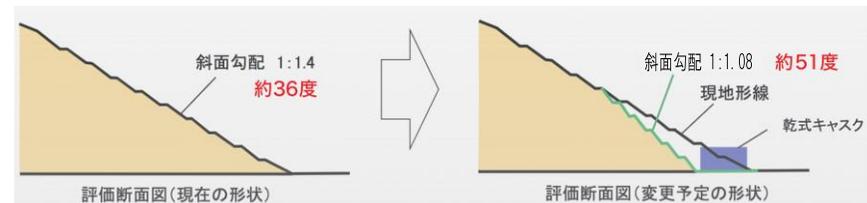
### カラーリーフの概要紹介

#### 1. 乾式貯蔵後の搬出先も貯蔵期間も決まっていない

- ・ 原発敷地に居座り、核のゴミ捨て場になる危険

#### 2. 狭い敷地に詰め込む矛盾

- ・ 急斜面の下に設置するため、土砂崩れで格納設備が埋もれ、除熱ができなくなる危険（下図）
- ・ 格納設備は地震で壊れると関電も認めている
- ・ 格納設備の外の温度を33°Cと想定。あまりに低すぎる



2024.7.12 審査会合 関電資料1 4頁より作成

